

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
地域の伝統文化と文化財を活かす教育		全教諭	6H	講義
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成30年10月27日(土)	40人	山岸 公基 (奈良教育大学・教授) 大山 明彦 (奈良教育大学・教授) 金原 正明 (奈良教育大学・教授)		
会場				
奈良教育大学				
<b>【講習の概要】</b>				
新薬師寺旧境内遺跡・吉備塚古墳を構内に擁する奈良教育大学で、文化財を足がかりに地域性を活かした伝統文化の教育内容・教育方法について考える。各教科の力はもとより、横断的・総合的な力量をも兼ね備えることではじめて、伝統文化・文化財を学校教育に活用することが可能になる。美術と理科とを切り口としながら、総合学習を構想するうえでの宝庫でもある伝統文化・文化財の、古くかつ新しい魅力を再発見する。				
<b>【小テーマ①】 東大寺の仏像</b>			1. 5H	(担当講師:山岸 公基)
講習形態	講義形式			
講習内容	東大寺やその関連寺院に伝来した仏像をテーマに、最新の研究動向により周知の美術工芸にどのような新たな視点を提示できるかを示す。また校区における文化財の学校教育への活用について、いくつかの事例を紹介する。			
到達目標・確認指標	美術工芸の技法や歴史学・仏教学への興味・関心をふまえ、妥当な論拠に立脚して美術工芸文化財の意義・価値を主体的に見出す姿勢を持つこと。その前提として、鑑賞教育にとっても必須な視覚のカテゴリー化能力を高める(すなわち、見て何か分かるようになる)こと。			
キーワード	仏像、美術工芸、文化財、歴史、奈良、東大寺、仏教、文化交流、鑑賞教育			
<b>【小テーマ②】 興福寺の仏像</b>			1. 5H	(担当講師:山岸 公基)
講習形態	講義形式			
講習内容	興福寺やその関連寺院に伝来した美術工芸文化財とその源流を見極めることが、周知の美術工芸にどのような新たな視点を提示できるかについて、また校区における文化財の学校教育への活用について、いくつかの事例を紹介する。			
到達目標・確認指標	美術工芸の技法や歴史学・仏教学への興味・関心をふまえ、妥当な論拠に立脚して美術工芸文化財の意義・価値を主体的に見出す姿勢を持つこと。その前提として、鑑賞教育にとっても必須な視覚のカテゴリー化能力を高める(すなわち、見て何か分かるようになる)こと。			
キーワード	仏像、美術工芸、文化財、歴史、奈良、興福寺、仏教、文化交流、鑑賞教育			
<b>【小テーマ③】 伝統文化としての色彩表現ー正倉院宝物や古代寺院の事例から</b>			1. 5H	(担当講師:大山 明彦)
講習形態	講義形式			
講習内容	正倉院宝物や古代寺院などにみる色彩表現の実例、それらの記録・伝承に関する実際例を呈示することで、受講生自らが我が国の伝統文化に関する理解を深め、美術、あるいは歴史などの教育に生かすための助けとなるような展開を目指す。			
到達目標・確認指標	奈良時代を中心とした身近な地域の文化遺産にみる絵画的表現の実際を学習し、美術教育に於ける「鑑賞」などの指導に役立てることが出来るような力を身につける。美術文化の継承、創造の原点・歴史に関わる認識を高める。			
キーワード	美術・歴史教育、伝統的絵画表現、伝承			
<b>【小テーマ④】 埋蔵文化遺産への視点、新薬師寺旧境内遺跡と吉備塚古墳等</b>			1. 5H	(担当講師:金原 正明)
講習形態	講義形式			
講習内容	本講義では、新薬師寺旧境内遺跡や吉備塚古墳の具体例を通して考古学的方法を学び、考古遺跡の環境を調べる環境考古学的手法の研究結果から、自然科学的方法を学ぶ。			
到達目標・確認指標	考古学的方法と関連する自然科学的方法を学び、文化財および考古学を文系と理系の総合学習的視点でとらえる。			
キーワード	新薬師寺旧境内遺跡、吉備塚古墳、編年、型式、環境考古学、海進、珪藻分析、植生、花粉分析、種実同定、農耕文化論			
試験方法	小テーマ④の講義終了後40分の時間を取り、小テーマ①～④担当講師が作成した試験をまとめて実施する。			
成績評価の方法・基準等	小テーマ①・②・③・④のそれぞれ(15点+15点+15点+15点=60点)と共通問題(40点)とについて、試験(100点満点)をもとに成績評価する。総合点で60点以上を合格とする。			